

IAUD Newsletter vol.10 第 12 号 (2018 年 3 月号)

1. IAUD アワード 2017 審査結果発表	1
2. 研究部会 UD フォント・カラーUD セミナー開催報告	6
3. IAUD 3 月の予定	8



ミュンヘンより IAUD アワード事業を海外へ発信

IAUD アワード 2017 審査結果発表

IAUD アワード 2017 は国内外から 43 件のエントリーがあり、IAUD アワード 2017 審査委員会による厳正且つ公正な審査の結果、「大賞」2 件、各部門の「金賞」9 件、「銀賞」14 件を選定しました。また、UD において一定の基準を満たした 14 件に対して「IAUD アワード」を選出しました。

受賞結果は、3 月 9 日(金)にオスカー・フォン・ミラー・フォーラム(ドイツ・ミュンヘン)で開催された「IAUD アワード 2017 発表会 & シンポジウム in ミュンヘン」において発表されました。

7 年目となる IAUD アワード事業は今回初めて海外でイベントを実施し、今後さらに IAUD の取り組みを海外へ配信する契機となりました。

当日は 14 か国からの方々にご参加いただいた中、受賞者には古瀬敏理事長より表彰状が授与されました。また、大賞と金賞受賞者によるプレゼンテーションが行われました。

さらに、IAUD アワード 2017 審査委員会をお迎えしての基調講演やパネルディスカッション「UD は世界を変えられるのか」も行われ、成功裏に終了しました。

審査委員長のロジャー・コールマン氏(英国王立芸術大学院名誉教授)は IAUD アワード 2017 について、「2 つの大賞作品と他の複数の応募作品が、UD の境界を押し広げ、UD の特性とそれが達成しうる社会的・個人的利点を引き上げました」と講評しました。

そして、「あらゆる社会のためのデザイン、という目標では、日本は今、どの国よりも先を行っています。2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会で、そのストーリーを世界の舞台で語る機会を絶対に逃してはなりません。日本の事例は真に人を勇気づけます」と述べました。

今号の Newsletter では IAUD アワード 2017 審査結果をお伝えします。

※「IAUD アワード 2017 発表会 & シンポジウム in ミュンヘン」開催報告は 4 月初旬発行の IAUD Newsletter vol.11 第 1 号で掲載します。



「IAUD アワード 2017 発表会 & シンポジウム in ミュンヘン」会場の様子



コールマン審査委員長

IAUD アワード 2017 大賞(2 件)

・事業戦略部門
パナソニックのUDコミュニケーション
パナソニック株式会社

・ソーシャルデザイン部門
みんなにトイレをプロジェクト
株式会社 LIXIL



大賞のパナソニックに表彰授与する
古瀬理事長(写真左二人目)

IAUD アワード 2017 金賞(9 件)

・地域計画部門
Development of 'Chao Phraya for All' to Create Inclusive City
包含的都市づくりのための「万人のためのチャオプラヤー」の開発
King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang
モンクット王工科大学ラートクラバン校(タイ)

・教育部門
ともに学ぶプロジェクト 障がいの有無によらず共に学ぶための ICT 利活用
香川県教育委員会／小豆島町教育委員会／国立香川大学／富士通株式会社／富士通デザイン株式会社

・サービスデザイン部門
FACT-V 現金自動取引装置シリーズ
富士通株式会社／富士通フロンテック株式会社／富士通デザイン株式会社

・プロダクトデザイン部門
Panasonic レッツ・リモコン AD/ST PN-L90102、PN-L90101
パナソニック株式会社

・医療福祉部門
充電式の耳かけ型補聴器 R4 シリーズ
パナソニック補聴器株式会社

・インタラクションデザイン部門
車載用高精細ワイドディスプレイミラーレスモニターシステム
パナソニック株式会社

・住宅・建築部門
障がいを持った方が快適に利用できる三菱エレベータータッチパネル式乗場登録操作盤
三菱電機株式会社

・地域計画部門

しあわせの村ナビゲーションアプリ“だれでもナビ”の開発
公益財団法人 こうべ市民福祉振興協会

・事業戦略部門

おもちゃのユニヴァーサルデザイン―「共遊玩具」の開発と活動推進のための仕組みづくり
タカラトミーグループ

IAUD アワード 2017 銀賞(14 件)

・コミュニケーションデザイン部門

キッズケータイ F-03J
富士通コネクテッドテクノロジー株式会社／富士通デザイン株式会社

・教育部門

スクールタブレット
富士通デザイン株式会社

・プロダクトデザイン部門

家庭用紙パック式掃除機 Panasonic MC-JP800G/SJP800G シリーズ
パナソニック株式会社

・プロダクトデザイン部門

ロボット掃除機「RULO(ルーロ)」 Panasonic MC-RS800 シリーズ
パナソニック株式会社

・コミュニケーションデザイン部門

作業現場向け骨伝導ヘッドセット
パナソニック株式会社

・教育部門

共生・多様性の視点に立った家庭科における減災教育プログラムの開発
広島都市学園大学／敬愛大学

・地域計画部門

The Els for Autism Sensory Arts Garden: An Inclusive Space for Discovery and Enrichment
エルス・フォー・オーティズム・センサリー・アーツ・ガーデン: 発見し、豊かにするための社会包
含的スペース
DIRTWORKS LANDSCAPE ARCHITECTURE, PC(米国)

・住宅・建築部門

屋内空間のアクセシビリティ向上に寄与する誘導マット
錦城護謨株式会社

・プロダクトデザイン部門
コードレスクリーナーVC-NX1/NXS1
株式会社東芝／東芝ライフスタイル株式会社

・パッケージデザイン部門
感性工学を用いた高齢者ニーズ対応の小容量サイズ缶開け易さ向上
アサヒビール株式会社

・パッケージデザイン部門
「環境」と「人」にやさしい飲料用6缶パックの開発について
アサヒビール株式会社

・コミュニケーションデザイン部門
MORISAWA BIZ+～だれもが使えるUDフォント～
株式会社モリサワ

・住宅設備部門
簡単操作のバリアフリー折れ戸「プッシルドア」
株式会社ニチベイ

・公共空間部門
多くの方が安全・安心に道路横断するための歩行者信号機用補助装置
篠原電機株式会社

IAUD アワード 2017(14 件)

・住宅設備部門
三菱電機エアコン ZW /ZXV シリーズ
三菱電機株式会社

・インタラクションデザイン部門
ユーザーの操作負荷と衝突時の危険性を低減するカーナビゲーション(NR-MZ300PREMI)
三菱電機株式会社

・住宅設備部門
多様な方々の快適な暮らしを支える冷蔵庫 RX シリーズ
三菱電機株式会社

・住宅設備部門
IH クッキングヒーター
三菱電機ホーム機器株式会社／三菱電機株式会社

・住宅設備部門
音声ナビ付レンジグリル ZITANG RG-HS1
三菱電機ホーム機器株式会社／三菱電機株式会社

・プロダクトデザイン部門
軽量コンパクトクリーナー Be-K シリーズ
三菱電機ホーム機器株式会社／三菱電機株式会社

・プロダクトデザイン部門
コードレスアイロン TA-FLW シリーズ
株式会社東芝／東芝ホームテクノ株式会社

・住宅・建築部門
大人 HOUSE「-間- awai(あわい)」
積水ハウス株式会社

・教育部門
FUJITSU 文教ソリューション K-12 個別学習支援ペンまーる「個に応じた学びの提供」
富士通デザイン株式会社

・インタラクションデザイン部門
カーナビゲーション HMI “Quad View”
クラリオン株式会社

・プロダクトデザイン部門
デジタルハイビジョン液晶テレビ Panasonic TH-EX500 シリーズ
パナソニック株式会社

・住宅設備部門
住まいの温度バリアフリーを実現する小空間マルチカセットエアコン
ダイキン工業

・宅設備部門
ロールスクリーン小型ガイドレールタイプ グリップ操作式
株式会社ニチベイ

・サービスデザイン部門
「もしもの時の保障」から「伴走型ヘルスサポート」へ、保険の新しいデザイン
メットライフ生命保険株式会社

※IAUD アワード 2017 受賞結果はこちらをご覧ください。
<https://www.iaud.net/award/9631/>

※IAUD アワード 2017 審査講評はこちらをご覧ください。
<https://www.iaud.net/award/9634/>

※IAUD アワード 2017 大賞・金賞を受賞した取り組みは、IAUD Newsletter vol.11 第 1 号より
順次紹介します。

UD へのより深い理解のために 研究部会 UD フォント・カラーUD セミナー開催報告

研究部会は2月22日(木)に(株)モリサワ東京本社セミナー・ルーム(東京・飯田橋)において、「誰もが使えるUD フォント、公共表示・サインにおけるカラーUD セミナー」を開催しました。

このセミナーは、移動空間プロジェクト内での起案をきっかけに研究部会が主催したもので、誰もがUD フォントを利用できることをテーマにした「MORISAWA BIZ+」のセミナーと、「わかりやすい色」「見分けやすい色」の配色デザインについて解説するカラーUD のセミナーの2部構成で行われました。

当日は研究部会メンバーや会員企業関係者、またIAUDの発信する情報を知りたい一般の方など約50名にご来場いただき、盛況裏に終了しました。

今号のNewsletterでは当日の様子を移動空間PJの河野博史メンバーが報告します。



満員となったセミナー会場

あらゆる人が「見やすい」「読みやすい」「間違えにくい」文書のために

第1部「誰もが使えるUD フォント『MORISAWA BIZ+』」では、(株)モリサワ エンタープライズ事業部事業開発一部流通ビジネス推進課の長武史氏を講師に行われました。

まずはあらゆる人が「見やすい」「読みやすい」「間違えにくい」をコンセプトに開発されたUD フォントを解説、さらに、「MORISAWA BIZ+」が、誰もが日常の文書作成に利用できることを目的に、「BIZ UD ゴシック/ 明朝(スタンダード版)」を無償提供するサービスである、との説明がありました。

セミナー終了後も多くの聴講者が個別に質問され、Microsoft Office アプリケーション向けにゴシック体2書体、明朝体1書体を無償提供するコンセプトに関心が寄せられていました。



UD フォントについて講演する長氏(写真左)

「わかりやすい色」「見分けやすい色」を使うカラーUD

第2部「公共表示・サインにおけるカラーUD」では、メディアのUDPJ 主査で特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構副理事長の伊賀公一主査を講師に行われました。

色弱の人や高齢者などより多くの人に「わかりやすい色」「見分けやすい色」を使う配色デザインであるカラーUD について解説。豊富な事例とともに、公共の施設やサイン、ナビゲートシステムがカラーUD



カラーUD について講演する伊賀主査(写真左)

に配慮することで、誰にとっても使いやすい情報提供になると説明しました。

また、色覚をシミュレーションするアプリケーション(Illustrator)の解説や、色弱模擬フィルタ「バリエーション」(単眼型)を聴講者に配布して、実際に色弱者の色の見分けにくさを体験する機会もあり、聴講者がカラーUDの重要性を実感できるセミナーとなりました。

コミュニケーション支援・会話の見える化アプリ「UDトーク」活用

今回のセミナーでは、手話通訳だけでなく、マイクで集音した講演内容をリアルタイムにテキスト化する「UDトーク」を利用することで、情報保証にも配慮しました。

「UDトーク」は、会話に遅れない速度でのテキスト変換を行い、同音異義語などの誤った表記が行われた場合も、iPhoneなどほかの端末からサーバーを通して即時の修正が可能(編集箇所は通常テキストとは異なる色で表示)です。

他にも、「ふりがな表示」「英語など他の言語への同時翻訳」「独自の単語登録による変換ルール」にも対応するなど、非常に高性能なアプリケーションです。今後、別のセミナーでも十分に活用できる印象がありました。

誰もがUDにチャレンジできるために

このセミナーではデザイナーはもちろん、パソコンを操る人なら誰もが毎日使っているフォントやカラーについて、UD観点できちんと理解すればUDフォント使用やカラーUDに配慮して作業を進められる、と聴講者に自信をもていただいたと思っています。

今回は専門的な講師による噛み砕いた平易なプレゼンテーションをさせていただいたのですが、会場の熱気や終わった後の聴講者からの心のこもった御礼の言葉と質問の様子から、私たちスタッフ一同に「やってよかったという笑顔の輪」が広がりました。

配慮の仕方がわかれば誰もがUDにチャレンジできると感じるのだろう、と思っています。今後も機をとらえて、地道にセミナーやシンポジウム、アプリコンテストなどを企画・実行していきます。(了)

月	火	水	木	金	土	日
			1 13:30～ 標準化研究 WG @IAUD サロン	2	3	4
5	6	7	8 14:00～ 衣の UDPJ @IAUD サロン	9 IAUD アワード 2017 発表会 & シンポジウム in ミュンヘン@オスカー・フォン・ミラー・フォーラム	10	11
12	13	14	15 13:00～ 研究部会 @IAUD サロン	16 13:00～ 手話用語 SWG @六本木ティーキューブ 15:00～ 理事会 @IAUD サロン	17	18
19	20	21 春分の日	22	23	24	25
26	27	28	29	30 16:00～ 評議員会 @セルリアンタワー 一東急ホテル	31	

次号は 2018 年 4 月発行予定

特集:「IAUD アワード 2017 発表会 & シンポジウム in ミュンヘン」開催報告 / IAUD アワード 2017 受賞紹介① ほか

IAUD 情報交流センター (IAUD サロン):

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階
電話: 03-5541-5846 FAX: 03-5541-5847 e-mail: info@iaud.net